

報道関係者各位

プレスリリース

株式会社 ニュートリション・アクト

2007 年 3 月 16 日

【健康情報関連 最新研究報告】

新規 SOD 機能性食品素材、食事指導との併用でメタボリックシンドロームによる動脈硬化のリスクを顕著に低減

- フランスの研究者が、三年間の臨床試験の成果を EU 学術誌で発表
 - 2008 年 4 月より施行される特定健診・保健指導を前に、内臓脂肪対策だけでなく、抗酸化対策の重要性が示された。
-

フランス予防医学協会、パリ アメリカン病院の研究チームは、メタボリックシンドロームリスク保有者に対して、メロン由来の新規抗酸化成分(GliSODin)の2年間に渡る長期臨床試験を実施した。彼らは、医師の指導による食事療法(三年間)と GliSODin を併用することで、体内の抗酸化酵素(SOD、グルタチオンペルオキシダーゼ)活性が上昇し、動脈硬化の進展が抑制されたという研究成果を報告した。三年間の食事療法のみを実施したグループでは血液中の脂質プロファイルには改善が見られたものの、抗酸化酵素活性は変化せず、動脈硬化の進行は抑制されなかったことから、メタボリックシンドローム対策に酸化ストレスを抑制することが大切であると、研究者は結論付けている。

本研究は 2007 European Annals of Allergy and Clinical Immunology(Vol.39、No2)に掲載されたもの。

研究は、前パリ大学医学部教授 Dr クロアレックの指導の下で行なわれたもので、実験開始一年前より食事指導を実施した。フランスの動脈硬化・コレステロール研究コーディネート委員会の基準に準じて、かつ循環器機能に好ましい地中海式の食事療法プログラムをベースに厳密な食事管理を行なった為に、試験開始時の被験者は最終的に約半分(76⇒34 人)となった。

次に、この 34 人を二群に分け、一方は食事療法に加えてメロン由来の抗酸化食品：GliSODin を摂取させ、他方は引き続き食事療法のみとし、試験を 2 年間継続した。試験の結果は、血液検査値、血中抗酸化酵素活性、血中過酸化脂質、及び動脈硬化のリスクを直接反映する頸動脈の血管壁の厚さ(IMT)によって評価した。

結果、両群ともに、3年間の食事療法によって血中脂質・血圧・血糖値が改善された。GliSODin 群では抗酸化酵素活性が約 50%(SOD : 45.8%、GPx : 54.1%)上昇し、血中の過酸化脂質は約 30%減少し、血管壁の厚さも有意に改善されていた。一方食事療法のみ群では、抗酸化酵素活性、過酸化脂質いずれも改善が見られず、血管壁の厚さは悪化の傾向を示していた。

被験者が少なくなってしまったので、この研究報告で全てを結論付けることは出来ないが、この結果は、メタボリックシンドローム改善を目的とする保健指導において、内臓脂肪対策のみでなく、野菜・果物等の抗酸化物質が豊富な、食事の質的な面での改善が重要であることを示している。ここには、明確な科学的エビデンスのある抗酸化食品やサプリメントによって抗酸化成分を補充する意義もあるかもしれない。

なお、今回の研究で用いた GliSODin(和名：メロングリソディン)は、株式会社ニュートリション・アクト(東京都 港区)が日本国内での輸入・販売を行なっている抗酸化食品素材。

IMT とは

血管壁の肥厚度のこと。超音波エコー診断機で動脈の血管の内壁を撮影し、自動解析ソフトウェアで血管壁の内膜と中膜の厚さを計測する評価法を用いる。頸動脈の血管肥厚は動脈硬化症のリスクを直接反映しており、米国や欧州の医療現場では既に一般的な診断に使われている方法である。

日本でも、メタボリックシンドロームの改善に注目が集まっていることと、労災の二次検診の項目に IMT 評価法が正式に採用されていること、簡便かつ直接的な評価法であることから、メタボリックシンドロームの予防・改善の指標として国内の医療現場でも採用が広がりつつある。

GLISODIN とは

ヨーロッパで食されている、抗酸化酵素 : SOD を豊富に含むカンタループ種のメロンの果肉の抽出エキス。メロン SOD と小麦タンパクとが組み合わせられたもので、体内の抗酸化酵素 (SOD、カタラーゼ、グルタチオンペルオキシダーゼ) を誘導・調節する事をコンセプトとする唯一の抗酸化食品素材。旧称をオキシカイン。世界各国で、機能性に関する研究が活発に進められている(Glisodin.org : <http://www.glisodin.org>)。



お問い合わせ先

株式会社ニュートリション・アクト

担当：鈴木

〒108-0074 東京都港区高輪 1-5-4 常和高輪ビル 1 F

TEL:03-5475-7313 FAX:03-5475-7314

HP URL : <http://www.n-act.co.jp/>

E-Mail : h-suzuki@n-act.co.jp